



横浜陶芸友の会だより

第181号
令和3年
11月15日発行

「作品展開催を決めました」

横浜陶芸友の会 会長 高橋 光男

早秋を過ぎ少しずつ寒さが
増してきて晩秋から冬に向かい
ますがいかがお過ごしですか。



緊急事態宣言と蔓延防止等重点措置がすべ
ての地域で解除されたことにより、様々
な方々が受けていた縛りは終わりました。

「友の会」はこれを受けて、10月23日、
役員会で1月11日～16日までの六日間の、
「作品展開催」を決めました。

2年連続の作品展中止により、発表作品が
おありと思いますので、多数の出品をよろし
くお願いいたします。

今回は、コロナ感染症対策に万全を期して
受付方法、会場案内等、役員一同気を引き締
めて開催することといたします。

対策等で今までと違い、「受付」「会場案内」
等に会員の方々のお手伝いが必要といたしま
すので、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症罹患患者数が減少

していますが、終息ではないので今回は、「懇
親会」及び例年行っている「作品についての
説明会」は中止にいたしますのでよろしくお
願いいたします。

今後第6波など、再び感染が拡大しないこ
とを願っています。

くれぐれも体調管理に十分に留意され、健
康に過ごされ「作品展」に奮って多数の会員
の方々が参加されることを願っております。
では会場でお待ちしております。

(ギリシャ神話より)

パンドラは、ゼウスの神より、
あけてはならないとされる甕を渡
された。
蓋を開けると、あらゆる禍が飛
び出した。
慌てて蓋を閉めると、底に残って
いたのは『希望』だった。

新入会員の紹介

佐野将司(サノ マサシ) さんです
よろしく願っています。
昨年11月 沼津穴窯焼成時 見学に来て
焼き物にはまり、先日の専修部焼成会に
参加しました。陶芸は初心者です。

役員会の報告 総務部より

10月23日(土) 9時30分より

会長・副会長・各役員9名で話し合いました。

○事業部 第42回「作品展」について

会場・日程 決定

○専修部 秋期焼成会の報告

○広報部 4月「友の会たより」発行

8月「友の会たより」発行

11月「友の会たより」発行予定

○総務部 4月・8月「友の会たより」発送
11月「友の会たより」

「作品展のご案内」発送予定

※詳細については各部の報告でご確認を
お願い致します。

※「案内はがき」を同封いたしました
更に必要な方は高橋会長まで

ご連絡をお願いいたします。

◎コロナはだいぶ収まってきてはいますが、
感染予防対策は引き続き行い「作品展」を
開催することに決まりました。

皆様にお会いできる事を楽しみにしており
ます。

秋の焼成会(研修会) 報告

専修部より

【'21年度 秋の焼成会終わる】

9月4日(土)

「技能文化会館」において作品の受付

【素焼・釉掛・本焼を経て】

18日(土)

作品の引き渡しが無事終了しました。

(出品者) 10人
(作品数) 101点(34、8kg)

内容は、
大小の皿や鉢類、まな板皿、向付、カップ類、
徳利や猪口など多彩な作品が持ち込まれまし
た。



中でもにぎやかなのは、皆が集まって行う
釉掛です。



釉の種類が多く
(唐津藁白、斑唐
津、トルコマット、
蕎麦釉、青織部、
黄瀬戸、黒天目、
朱赤、透明釉など)
あれこれ迷うのも
楽しい場面です。



単色では、青織
部、黄瀬戸、ト
ルコ、藁白が多
く、あとは掛け
合わせと様々
でした。

一方、本焼後にせっかくの作品に亀裂が入
ったり、思い描いた色合いにならなかったり
という場面もありました。

以上、

次回、皆さまのご参加をお待ちしております。

○第42回「作品展」のお知らせ

事業部より

今年度は、感染者数も減少傾向にあり、何
とか「作品展」が無事に開催できることを願
うばかりです。会場の「かなつくホール」が
使用できない状態になると別ですが・・・。
新型コロナウイルスへの対応もあり、準備や受付方
法も例年と変えざるをえません。

参加者や来場者が減少するかもしれませんが、
会員皆様の知恵と協力を得ながら盛り上
げましょう。

【会期】令和4年1月11日(火)

5 16日(日)

【会場】かなつくホール A室

(JR東神奈川駅 下車3分)

【特設コーナー】「片口」

【申し込み締切り】令和4年1月5日(水)

【申し込み先】



※「出展作品一覧」も同封してください

※申し込み方法と「作品展」の詳細について
は、会報の11月号と一緒に会員の皆様に送付
いたしました。

◎今年度は変更がありますので、会報や要綱の内容をよくお読みください。

【会場設営】※いつもと違います

例年、皆様にお手伝いをお願いしていますが、今年度は、皆様にお願いしていただき、密を避けるために

・各部から2〜3人出してください
・その人数で設営を行います。
・設営担当以外の「出展者」は11時からの「受付時間」に来場するようお願いいたします。

【受付時間】

令和4年1月11日(火) 11時〜

※開場は 13時から

【搬出】 1月16日(日) 16時より

※片付けは 全員で行います。

【会場当番】

◎例年通り、「協力」をお願いいたします。

☆今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため
常時「マスクの着用」「体温チェック」「こまめな除菌」など、今までと違った対応になります。

「会場責任者の指示」に従ってください。

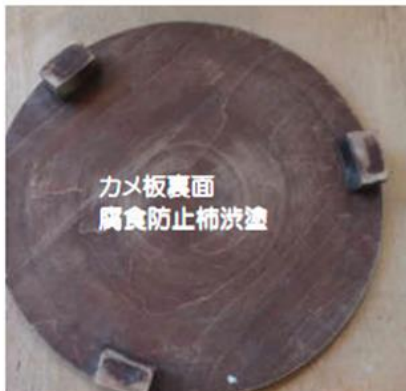
【懇親会】今年度は、行いません。

【作品の説明会】今年度は行いません。

☆個々、密を避けて行ってください。

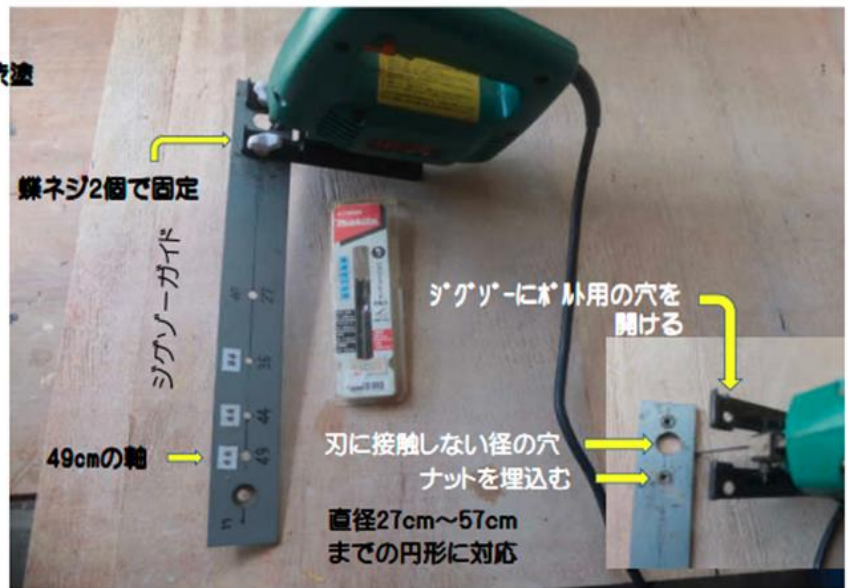
鈴木貴久さん作「手作り道具」の紹介 ②

前回に続いて、鈴木貴久さんの「手作り道具」の紹介です。
「一点物」を作るときに必要な「カメ板」「クレイガンの紐作り」「トチ」の作り方を教えてくださいました。
是非、皆さまも 作って活用してみてください。



カメ板

シグナー本体に2個の穴を開けガイドに固定すると綺麗な円形にカット出来る。



紙ヤスリで削る



カメ板の脚:加工後

陶陶さん

第103号

あかほし



ホームページもチェック!!

横浜陶芸友の会

検索

<http://www20.atpages.jp/tomonokai/>

横浜陶芸友の会だより
第181号

(令和3年11月15日発行)
発行人 横浜陶芸友の会
会長 高橋 光男

編集責任者 広報部長 吉良謙



クレイガン

ヒモ作りに使います
市販のコーキングガンと内径40の塩ビパイプで作りました。先端はプラスチック板に穴を開けてつけ高台のヒモやコップの取っ手を作ります

「クレイガン」を使った「粘土の紐作り」用の「手作り道具」です。
先端の形を取り換えることで、紐の形が変えられます。



トチ

窯詰めの際に使うトチは消耗品なので石膏型に道具土を隙間の無い様に埋め込み作ります
成型後に素焼きをして強度を得ます

石膏で型を作り、窯詰め用の「トチ」を作っています。
一個あると便利です。
皆様も色々な道具を作っていることでしょうか。ぜひ、教えてください。

【編集後記】

・久しぶりに対面での役員会が開かれました。リモート会議が主流になったとはいえ、やはり私には対面での話し合いが性に合っていると感じました。

「作品展」も、きっと写真ではその良さが伝わりきれないだろうと思います。

来年一月の「作品展」は、生の作品、生の陶芸談義が見聞きできることを願うばかりです。今のところ日本では新型コロナウイルスも感染者数が減少していますが、ドイツなどでは再び増加している様です。

制限解除後の土曜日に横浜に出掛けたら、その人の多さに驚きました。

第6波が来ないように、皆様、日々気を付けて過ごしましょう。

記事の少ない中、鈴木貴久さんの「手作り道具の紹介」で紙面が埋められたことに感謝いたします。

鍋島